

「一家を救った税金」

福岡市立和白中学校

西重 優

私のお父さんは自営業でボクシングジムをしています。普段はとってものにぎやかで会員さん達みんなが笑顔になれるとても大切な場所です。しかし、最近感染力がさらに強まっているコロナウイルスの影響でみんなが笑顔のなれる大切な場所が奪われてしまう所だったのです。その時、みんなの大切な場所を救ってくれたのは税金でした。そこで、初めて私は税金についてもっとくわしく知りたいって思いました。

朝、テレビをつけると個人事業者、中小企業経営者などは営業停止となっていました。私は、あまり理解していませんでした。すると母親が急に「今みたいな生活は難しくなるだろうね」と言いました。私はその時、ジムが今とても大変な事になっているのだと初めて気付きました。それを聞いて今私に出来ることは何か、どんな小さなことでも、少しでも親を楽にしてあげたいという気持ちが日に日に強くなっていきました。しかし、なかなか難しく家事を手伝うぐらいのことしか出来ませんでした。営業停止になってからは両親の笑顔があまり見れなくなり、ぶつかることもありました。このまま、営業停止が続くと生活が出来なくなるという不安もあったからです。しかし、私は両親はコロナウイルスに負けていないと思いました。毎日話し合ってもう一度再開してお客様を笑顔にさせたいという気持ちはずっと変わっていないなと思ったからです。

毎日悩む日々が続く中ある日ニュースで国から持続化給付金を出すと発表がありました。私は、正直何のお金か分かりませんでした。調べてみると、持続化給付金とは、中小法人等最大二百万、個人事業者最大百万もらえるというものでした。しかしみんながもらえるものではなく売り上げが前年同比で五十パーセント減少というものでした。また、もう一つ特別定額給付金というものもありこの二つをもらうことが出来ました。おかげで、両親に少しずつ笑顔が戻っていき私は心の底からうれしかったです。その時初めて私たちを救ってくれた給付金が税金から出されていることを知りました。

私たちが、税を納めているのは、みんなが本当に困った時に使うからだということに気づきました。正直今までは消費税とかなくていいと思ったときもあったからです。でも、自分の身近で困っている人がいて税金で救われているのを見たら、やっぱり税金は大切だなと思いました。今は子供で働けないからこそ働いて税を納める大人の方々に感謝することが私たちに今できることだと思います。また、自分の家族と同じ状態になった人はたくさんいると思うので大人になったら今度は自分がそういう困っている人に税金を使ってもらえるいうにしっかり納税できる大人になりたいです。